

第238回 番組審議会

1. 日 時 平成27年1月13日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名
出席委員数 10名 (欠席委員数 1名)

○ 出席委員 (敬称略)

中村 慶久 (委員長)
竹中 陽一 (副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
木戸場 美代子
久慈 浩介
斎藤 純
菅原 正二
八木橋 伸之
吉田 浩次

○ 会社側出席者 (5名)

小原 忍 (専務取締役)
前田 秀男 (取締役技術局長)
藤原 銀司 (取締役)
岩渕 博美 (岩手めんこいテレビ編成部副部長)
高橋 聡 (めんこいエンタープライズ制作部部長)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『又吉直樹 遠野一景』

12月30日(火) 16:50~17:45放送

5. 議事概要

今回は12月30日(火)放送の『又吉直樹 遠野一景』を審議しました。
議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ 岩渕プロデューサーからの説明

・今回の番組は、めんこいグループの社員からテーマやジャンルを定めずに企画を募集し、そこで採用になった企画。

・お笑い芸人として活躍している又吉さんは、読書家で、最近では文芸誌に掲載した小説が反響を呼んでいる。又吉さんが「遠野物語」の舞台を歩き、旅の終わりに一編書き下ろす、それを番組にした。

●めんこいエンタープライズ 高橋ディレクターからの説明

・1年ほど前に又吉さんが書いた「東京百景」という短編集を読み、洞察力や妄想力に圧倒された。と同時に「遠野物語」との共通点を感じ、又吉さんが「遠野物語」の舞台を旅する番組ができないかと考えていた。昨年、又吉さんにお会いする機会があり、彼が「遠野物語」のファンであることを知り、番組出演の承諾を頂き実現した。

・制作にあたりナレーションは極力少なくし、又吉さん本人のコメントを多用することで彼の意見や考えを表現することにした。ロケ後に書き下ろしたオリジナル短編「遠野一景」は、遠野の旅が確実に反映された内容だった。番組を通して、視聴者にもう一度岩手の文学作品を読んでみようと思ってもらえれば嬉しい。

●出席した委員からの意見

・又吉さんが「遠野物語」を熟読していることが伝わってきた。独特の切り口が番組をとっても面白くしていて一味違う遠野の旅番組だった。彼のファンになった。

・「遠野物語」に出てくる人の子孫がいること、そして伝承されていることに驚いた。

・余計な演出やナレーションをなるべく排除して又吉さん独特のペース「ゆっくり感」を大事に作ったのが良かった。

・又吉さんが「姥捨て山の話が、当時の税制に関連しているのではないか」とコメントしていた。短時間のロケでそのようなことに気が付く発想力、創作能力が素晴らしいと関心した。

・子孫の方をはじめ、地元の方とのふれあいがとても面白く、遠野に行ってみたい、「遠野物語」を読みたいと思わせる番組で、狙いは十分伝わっていた。

・文学好きの若いファンには是非見てもらいたい番組だった。

・羅列的で間延びした感じがする部分が気になった。カップ淵の場面はもう少し短くてもよかった。

・今、文学界でも旬の又吉さんの番組をぜひ全国放送してほしい。また、宮澤賢治や石川啄木などシリーズ化も検討してはどうか。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

* 平成27年1月14日（水） 産経新聞 東北版

* 平成27年1月24日（土）午前4時00分から4時15分まで「めんこいテレビ 批評」として放送

* 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし